

聖母教育支援センター

ボランティア室便り

2017年4月

2016年度も聖母教育支援センター・ボランティア室所属の「かめの会」「藤の会」「桜樹会」「ガーデニングボランティアサークル」の皆様と、ボランティア室スタッフの活躍により、「必要とされている方々や地域にできるだけ支援を」「子供たちに喜びを」「聖母を美しく」などをモットーに、様々な活動を行うことができました。また、熊本大地震からおおよそ1年が経ちましたが、最も大きな被害を受けた益城町のための募金活動では、5日間という短期間の街頭募金で140万円以上を集めるという生徒会執行部の大活躍を始め、各所属、保護者、クラブ、各同窓会の皆様から、1ヵ月ほどで合計200万円を超える募金が集まり、聖母の大きな力と心を感じることができました。益城町災害対策本部及び町長様より「被災された住民の皆様のために大切にに使わせていただきます」とのお礼状もいただきました。支援センターでは集計と送金のみを担当しましたが、僭越ながら、改めて「聖母の子供たち」と「聖母ゆかりの皆様」に心より感謝し、御礼を申し上げます。(聖母教育支援センター 廣岡将人)

『一の肥料は主人の足跡』

夏の間、藤森キャンパスの本館前のロータリーを飾った真っ赤なカンナの花に変わり、今、マリア像の足元には白いクリスマスローズが可憐な花をつけています。またそのまわりには小さな花がいくつも丁寧に植えられています。実は同窓生や保護者有志の皆様が「聖母を少しでも美しく」と、ガーデニングボランティアとして定期的に草取りや植栽をしてくださっているお陰で、このように美しい法人玄関を保って戴いています。夏の熱い陽射しの中でも、また冬の寒い中でも、もくもくと汗を流して奉仕して下さるボランティアの皆様には本当に頭が下がります。本当にありがとうございます。

冒頭の言葉は農業を生業としていた叔父の口癖です。どんな高価な肥料より、毎日、毎日、目をかけ心をかけ言葉をかける主人の汗こそ一番の肥料なのだ、という意味です。ボランティアの方々の思いや奉仕が一番の肥料となって花は咲きます。そのおかげで、子供たちや教職員、そして聖母を訪れる多くの方々は、美しい花に癒される時間を過ごすことができます。どのようなことにも、地道で心を込めた日常がなければ成果をあげることは出来ません。このことはまさしく日々の教育にもあてはまるのは言うまでもありません。ちなみに広島原爆投下後、最初に被爆地に咲いたのがこの真っ赤なカンナでした。本館前のロータリーに咲いたカンナも広島市の小学校より株分けして植えています。またクリスマスローズは、原種が氷河期を乗り越えて生き残った花だと聞きます。まさに「どんなに困難な時でも、必ず神様があなたの側にいてくださるから乗り越えていけるよ!」というキリストのグッドニュースを伝えるに相応しい花です。今もさまざまな困難の中で支援を求めている方々がおられます。聖母教育支援センターの活動を通して、その方々へ少しでもそのグッドニュースをお伝えしていきたいものです。どうぞ今年も活動へのご参加、ご支援をよろしくお願い申し上げます。(学校法人聖母女学院 理事長 赤野孝一)

桜樹会

香里キャンパス

紙芝居

桜樹会では、大型紙芝居の制作と共に上演や貸出しもしています。紙芝居制作では、今年度3作品を仕上げる事ができました。また、小学校の図書館の季節の飾りを作ったりもしました。上演は、小学校で月2回の他に、京都聖母学院幼稚園や大阪聖母保育園でも行いました。この他に特別養護老人ホームの寝屋川十字の園で毎月紙芝居をしたり童謡を歌ったりの訪問も続けております。30年近く描きためた作品が80作品になりました。これからも活用を拡げて行きたいと思っております。



保育

小学校の参観時や保護者講座の時に皆様方により見学や参加していただけるようにと始まった保育でした。今年度は大阪聖母保育園の「なかよし広場」のお手伝いだけでなく、イベント時の未就園児の保育のお手伝いにも拡がりました。小学校の参観等で年に5回、保育園には週に1～2回保育の活動をしました。



キルト・手芸

グループで作業はしていませんが、各自得意なものを作ってバザーに出したりしています。キルトは「タイのエイズ孤児にキルトを贈る」という主旨に賛同して、各々自宅でベビーキルト制作に励んでいます。今年は枚数が集まらず遅れませんでした。生地や布の寄付もありましたので皆様へ呼び掛けて制作していきたいです。手芸でも実用的なエプロン、体操服や靴袋等から可愛いアクセサリや装飾品までたくさん作り、バザーに出品しました。この売り上げを各種団体に寄付することができました。



かめの会

藤森キャンパス



かめの会は点訳の勉強をして、主に大阪にある点訳絵本図書館「ふれあい文庫」に依頼された市販の絵本の点訳をしています。絵本の文章を透明なビニールシートに点訳して絵本に貼り、絵の形も手で触って分かるようにビニールシートで形を取って貼り、目の見えないお母さんが子どもと絵本が楽しめるような点訳絵本を作っています。1年間に13冊ほどの点訳絵本を仕上げました。



ガーデニングボランティアサークル

藤森キャンパス



空いているプランターにお花をいっぱいにするお手伝いができればと始まった応援ボランティア活動も今年3年目に入ります。昨年はキンギョソウが、今年はノースポールがあちらこちらで咲き誇っています。幼稚園の子供達や小学生、中高生達の「綺麗な花が咲いてる！」その一言が嬉しくて活動しています。保護者の方々や先生方にも少しずつ気をとめてお声掛けくださる場面も増えてきました。子供達に関心を持ってくれることで又色々な立場の人が、みんなで一緒にすることで私達の学院が綺麗な花と温かい心で満たされればと試行錯誤しながら活動しています。

藤の会

藤森キャンパス



藤の会では昨年度も被災地支援の為のバザーを学院幼稚園、小学校、中学校・高等学校でしました。

中学校・高等学校学院祭ではぶっかけうどんの販売もし大盛況でした。香里園の聖母保育園の秋祭り、地域交流を深める為、深草100円商店街のイベントにも参加しました。また学院幼稚園の講演会の間未収園児の預かり保育の活動もしました。



第6回南三陸町支援体験ツアー

2016年8月2日～8月4日



2011年3月11日の東日本大震災直後から続けてまいりました「南三陸町支援体験ツアー」も今回が6回目となり、8月初旬、参加希望された聖母ゆかりの皆様と「忘れずに、続けよう」を心がけ、ボランティアとして全て自費参加にて行ってまいりました。南三陸町においては、支援開始の起点であり窓口である研修センターでの宿泊や顔馴染みとなった地元の方々との交流のみにとどめ、今回は現地の教育家の方のご案内にて、仙台市や気仙沼市を中心に震災後の復興現状を見てまいりました。今もなお仮設住宅での生活に我慢されている方々、負債に苦しんでいる方々、元の職に就くどころか転職を繰り返さざるを得ない方々、体調さえいまだに戻らない方々などにお会いしました。そこでは、地元の方々からすれば明らかに必要のない無駄な建築物や防潮堤建設に対する疑問、大企業優先優遇の行政に対する不信感などを特に大きく感じました。

また、震災の影響で更に運営が厳しくなった児童養護施設、幼稚園、保育園などにも、寄付金をお渡しするとともに表敬訪問させていただきました。そこでは、震災で精神的ショックを受け、引きずっている子供たちへのケアは勿論のこと、子供たちに「必要最低限以上の、物質面、精神面で余裕のある生活と、当たり前の教育を受けさせてあげることの大変さ、家庭環境や生活環境を整える大変さ」を説いてくださり、「子供たちのためには、先立つものが絶対に必要です!」「少し(の寄付)でも、本当にありがたいです」と、少し恥ずかしそうに、謙虚に、しかし確固たる意志と真剣な表情で我々に伝えてくださった園長様の姿が印象的でした。大人による大人への復興は進んでいるのかもしれませんが、社会的弱者である子供たちを心身ともに「守る器」「育てる器」の復興、充実にはまだまだ行政の手が、大人の手が行き届いていないのではないかと、何が優先されるべきだろうか、と考えさせられました。単純かもしれませんが、参加者全員が「こういう場所にこそ支援を続けて行こう! 続けたい!」と感じたと思います。

しかし決して悲壮感ばかりではありません。苦難の中でも、児童会や自治会を運営しながら子供たちのために、次世代のためにと努力されている方々、被災地の子供たちの学力向上、やる気向上を自らの使命と頑張っておられる方、自分の土地に戻り商売を再出発させた方、観光事業を軌道に乗せつつある方、地元への支援が可能になるほど回復した企業、仲良しグループを立派なPR組織に育てあげた方々、仮設店舗ではなく本来のお店を構えることができた方々、希望もたくさん見せていただきました。

被災地の方々の強く生きる姿、我々を明るく温かく迎えてくださる姿を見て、いつものことながら、こちらが元気をいただきます。尊敬の念を抱き、恐縮し、頭が下がります。「会うこと、知ること、本音がわかるまで関わること」の大切さを教えられます。そして今回は、前出の園長様の「先立つものが絶対に必要」「少しの寄付でもありがたい」という言葉が、我々の活動の一部でもある募金活動やバザー開催、手作り品制作販売への、強く大きな「継続への動機付け」となったようです。現地の皆様、聖母ゆかりの皆様、そして神様に感謝いたします。

2017年度 聖母教育支援センター年間スケジュール

2017年 5月 手作り講座【25日木曜日】

6月 聖書の集い【6日火曜日】・手作り講座【22日木曜日】

7月 聖書の集い【4日火曜日】第7回南三陸町支援体験ツアー【24日月曜日～26日水曜日】

9月 聖書の集い【5日火曜日】

10月 聖書の集い【3日火曜日】ロザリオ祭記念講演会予定・手作り講座【18日水曜日】

11月 聖書の集い【7日火曜日】深草100円商店街参加予定

12月 聖書の集い【5日火曜日】手作り講座【7日木曜日】

2018年 1月 聖書の集い【16日火曜日】

2月 聖書の集い【6日火曜日】手作り講座【7日水曜日】

3月 聖書の集い【6日火曜日】



ボランティア各会よりご案内

桜樹会（香里キャンパス）

※学校ボランティア 小学校参観時の保育

共遊時間 大型紙芝居 読み聞かせ

隔週火曜日 10時半～10時52分 小学校図書室

※施設訪問 特別養護老人ホーム「寝屋川十字の園」

毎月第4月曜日 10時15分～11時15分

※大阪聖母保育園

仲良し広場（地域の子ども対象の集まり）

保育のお手伝い 毎週火曜日 10時～11時30分

※紙芝居制作

国澤先生ご指導の下で製作 隔週火曜日 10時～14時

聖母教育支援センター1階

※キルト エイズ孤児にパッチワークのおくるみを送る活動

藤の会（藤森キャンパス）

※活動日

毎月第二・第四金曜日 10時半～正午頃まで

※活動場所

本館二階（赤レンガ2階）211号室

または212号室にて

※活動内容

簡単な手作り小物の作成

幼稚園・小学校・中学校・高等学校バザーでの販売

（バザーの収益金は被災地へ支援させていただいております）

深草100円商店街への参加・京都聖母学院幼稚園で

の講演時のお預り・講師の方をお迎えしての手作り

講座・大阪聖母保育園でのバザー参加など

かめの会（藤森キャンパス）

点訳絵本図書館「ふれあい文庫」の依頼により絵本を
預かり点訳しています

点字が全く初めての方大歓迎です

※活動場所

本館二階（赤レンガ2階）211号室にて

※点字学習年間スケジュール

2017年4月21日（金）・5月19日（金）

6月16日（金）7月7日（金）・10月20日（金）・11

月17日（金）12月1日（金）

2018年1月19日（金）・2月16日（金）・3月2日

9月は学院中高学院祭展示準備及び出展

ガーデニングボランティアサークル

（藤森キャンパス）

活動は基本的に毎週金曜日 10時～12時

バザー出店やアレンジメント等の講座開講で得た
利益で苗や土を買っています。子供達が関心を持つ
てくれることで又色々な立場の人がみんなで一
緒に関することで私達の学院が綺麗な花と温かい心で
満たされればと試行錯誤しながら活動しています。

◆是非たくさんの方の参加をお待ちして
います。みんなで一緒にお花増やしませんか？

楽しいことしませんか？

ボランティア各会への参加ご希望の方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

お問い合わせ先：聖母教育支援センター・ボランティア室 075(641)0507

発行元：聖母教育支援センター